



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター
平成30年4月25日
No.142

平成30年度 森林教室について

平成30年度の森林教室の予定をお知らせします。

募集受付は、イベント実施日の概ね1ヶ月前から受付する見込みです。

○第1回森林教室 初夏のブナ林で森林浴と散策

開催日：平成30年5月26日（土）

開催場所：青森県西津軽郡深浦町 十二湖

募集人員：30名（親子での参加を優先し、応募多数の場合は抽選）

参加費：200円（傷害保険料外・バス代は無料です）

募集期間：4月25日（水）～5月11日（金）

※平日8時30分～17時15分まで（土日祝日除く）

※お申し込み前にホームページ、チラシ等で詳細をご確認ください。

○第2回森林教室 タイトル未定

開催日：平成30年10月13日（土）

開催場所：**【予定】**秋田県山本郡藤里町 釣瓶落峠 外

*道路状況・天候等により開催場所を変更する場合があります。

募集人員：20名（親子での参加を優先し、応募多数の場合は抽選）

参加費：200円（傷害保険料外・バス代は無料です）

※募集期間等詳細につきましては、確定次第「白神の絆」でお知らせいたします。

人事異動（平成30年4月1日付）

○お世話になりました

所 長 寺田 治男 → 退職（平成30年3月31日付）

専 門 官 有本 実 → 藤里森林生態系保全センター 専門官

○よろしくお願ひします

所 長 上杉 修一 ← 東北森林管理局 総務企画部

企画調整課 監査官

専 門 官 葛西 伸彦 ← 下北森林管理署 事務管理官（総務・経理担当）

平成30年度 新体制でスタート



川村 葛西 上杉 三浦 吉川 下山

【職員からのひとこと】

所長 上杉 修一

4月1日付けで津軽白神森林生態系保全センターにお世話になります、上杉修一です。

世界遺産白神山地で仕事ができることを誇りにし、貴重な生態系の管理と適切な利用を促進するための諸活動を推進して参りたいと考えております。

また、白神山地世界遺産周辺へのシカの進入が危惧される状況です、関係機関と連携をとりながら被害防止対策に取り組んでまいりたいと考えております。

更に、白神山地周辺地域自然再生計画に基づいた自然再生活動や森林環境教育等に継続して取り組んでいきます。

当センターの活動は、多くの地域住民、ボランティア団体等のご支援なくしては成り立ちません。これまでと同様、ご協力をお願いしまして着任の挨拶とさせていただきます。

生態系管理指導官 三浦 幸久

生態系管理指導官の三浦です。白神山地世界遺産地域への入山マナー向上のため、今年度も合同パトロール等を計画しています。今後も、巡視員の皆様や関係機関、関係団体と連携し、指導・助言をいただきながら、より良い巡視活動が実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。

白神山地周辺においても、もう少しで入山のシーズンを迎えることとなりますが、この地を訪れる皆様が気持ちよく自然を満喫できるよう白神山地に関わる一員として、尽力していきたいと考えますので、よろしく申し上げます。

自然再生指導官 吉川 浩人

自然再生指導官の吉川です。当センターでは、今年度も公募型のイベントを企画していますので、より多くの方に参加いただきたいと思います。また、個人的には、この冬体力アップに努め、低山ですが幾度となく冬山を登りましたので、今年は白神山地未踏の地を多く走破したいと思っています。みなさん、よろしく申し上げます。

専門官 葛西 伸彦

4月1日付けで専門官として転任しました葛西です。どうぞよろしく申し上げます。

今まで経験した業務と違う分野で戸惑いはありますが、白神山地のことをより一層知る機会ですので、行事や関係団体などとの様々な関わりの中で理解を深めていきたいと考えています。また、担当の一つであるセンサーカメラの設置について、ニホンジカへの注目が高い中で今年度はどんな動物が顔を見せてくれるのか、とても興味をひかれます。

行政専門官 川村 幸春

雪解け水で河川も力強く流れを増しています。ふきのとうやカタクリ等の花々が咲き誇っています。私もウキウキしてきます。4月になって白神山地もめっきり春らしくなりました。

今年度も多くの皆様と広葉樹の森づくりを行う自然再生活動や自然散策等の森林教室でお目にかかれることを楽しみにしております。今年度もよろしく申し上げます。

非常勤職員 下山 優美

今年度は「体力低下防止」を目標にし、出来る範囲での体力強化が出来れば良いなと考えております。今年度もよろしくお願ひいたします。

お話になりました。

前 津軽白神森林生態系保全センター所長 寺田 治男

3月31日付けで退職することとなりました。

昨年4月に当センターにお世話になり、1年間のお付き合いでしたが関係機関の皆様には大変お世話になりました。

在職中の森林教室、自然再生活動、白神山地の保全活動の取組みへご支援を頂き感謝申し上げます。

白神山地世界遺産を取り巻く環境は、ニホンジカ対策、松枯れ、ナラ枯れ等年々厳しいものとなっておりますが、関係機関との連携により後生に引き継ぐため今後とも当センターへ変わらぬご支援をお願い申し上げます。

今後は、新体制となるセンター職員と共に、津軽白神森林生態系保全センターが益々発展することを祈念致しまして御礼のご挨拶と致します。

釣瓶落峠の向こうから（少々長い転任のご挨拶）

藤里森林生態系保全センター 専門官 有本 実

一早池峰山の高山帯にニホンジカが進出してくる前に、高山帯のチョウ類の定量データを残しておこうと今をさかのぼること5年前、当時岩手県に住んでいた私は、プライベートで早池峰山のチョウ類調査を始めました。2年間の調査を終えた後（興味のある方は『早池峰山 チョウ類』等でWeb検索してみてください）、津軽白神森林生態系保全センターに異動して再びニホンジカに関わる事態になろうとは、何か因縁じみたものを感じます。

着任後、中・大型哺乳類調査、森林教室や自然再生活動、合同パトロール等々に従

事し、休日はひたすら津軽白神の生態系の撮影に明け暮れ、ふと気付けば3年の歳月が流れていました。私の拙い解説に耳を傾けて下さった皆様、私宛にお手紙をお寄せいただいた方々、ナオキやコウキをはじめイベントに来てくれた子ども達、西目屋自然保護官事務所や白神山地ビジターセンター等関係機関の皆様、おかげさまでとても濃密な日々を送ることができました。写真展がきっかけで、FM アップルウェブの“津軽いじん館”に出演させていただいたのも楽しい思い出です。

心残りなのは、私が最も好きなジャンルの昆虫類について“白神の絆”上でほとんど触れられなかった事・・・津軽に来てから隔月で連載していました東北森林管理局の広報誌“みどりの東北”のミニコラムでは、時折昆虫関連のネタを取りあげています。今年度からは森林技術・支援センターの増田悠介氏(同期の植物のスペシャリスト!)と毎月交互に連載を担当しますので、東北局 HP よりご覧いただけると幸いです。

4月からは、白神山地の秋田県側の保全管理に携わっていきます。シカやイノシシに目を光らせながら、休日はやはり撮影に精を出し、いつか動植物・茸・風景などを網羅的に紹介する“白神山地の生態系”という写真集にまとめよう、などと勝手な妄想を膨らませている今日この頃。時にはプライベートで白神ライン沿いや白神岳辺りに出沒し、センサーカメラで激写されるかもしれません。

3年間の時を経て繋がることができた全ての皆様に感謝の意を込めて、“最後の一枚”を贈ります。それではまた、いつかどこかの山中でお会いしましょう！



乳穂ヶ滝(2018.2.26 西目屋村)

【編集後記】

本誌3月号の発行日に誤りがありました。正しくは「平成30年3月16日発行」でした。訂正してお詫びを申し上げます。(下山)

〈発行〉津軽白神森林生態系保全センター

